

#は外部講師による演目です。 ★は新規演目です。

施設名	シーン名	演目名	種別	実施月	内 容	実演時間	体験時間	定員	体験費用	注意事項
上総の農家	生活歳時記	七夕馬作り	実演	7月	茂原市大芝に伝えられる、まこもなどを使った七夕馬を作ります。真竹を細く割いて色付けした、赤や黄色の繊維できれいに飾り立てます。	5時間30分 10:00~15:30	—	—	—	実演日：7月28日
		稲の新箸 稲の成長や家族の健康を願う行事	展示	8月	稲の成長や家族の健康を願う行事です。すすきの茎で作った箸と、赤飯等を展示します。	9:30~16:30	—	—	—	展示日：8月6・7日
		盆	展示	8月	庭に盆灯籠を立てて、迎え火を焚いて先祖の霊を墓から迎え、仏壇の前にこしらえた盆棚に祀ります。また、墓を掃除して、花とご飯を供えます。そして、盆の終わりとともに送り火をします。	9:30~16:30	30分 14:00~14:30	なし	無料	体験時間に、迎え火（8月10日）と送り火（8月15日）に参加できます。 展示日：8月10~12日、14・15日
		刈上げ 稲刈りが無事に終わったことを田の神に感謝する行事	展示	9月	無事に収穫できたことを祝い、稲穂とおはぎを荒神様に供えます。	12:00~16:30	—	—	—	展示日：9月15日 「オーナー制親子で米作り③稲刈り」終了後に実演し、展示します。
		十五夜	展示	9月	旧暦の8月15日に名月をめぐる行事です。いも名月とも呼ばれ、団子や芋を供え、すすきや萩などを飾ります。旧暦では、1ヶ月は月の満ち欠けの周期に近い29日か30日で、15日はほぼ満月になっています。	9:30~16:30	—	—	—	展示日：9月13・14日
		十三夜	展示	10月	旧暦の9月13日に名月をめぐる行事です。十五夜との関連が深く「片月見はいけない」といわれています。団子や芋を供え、すすきや萩などを飾ります。	9:30~16:30	—	—	—	展示日：10月11・12日
		えびす講 恵比寿様をまつり、豊作を祈る行事	展示	11月	恵比寿は、農家では豊作や福徳を授ける神です。恵比寿像・大黒天像の前にご馳走やお金などを供えます。	9:30~16:30	—	—	—	展示日：11月16・17日
		冬至	展示	12月	1年のうちで、昼の時間が最も短くなる日です。かぼちゃの煮物を作り、ゆず湯を沸かします。	9:30~16:30	—	—	—	展示日：12月22日
		正月の準備	実演	12月	正月を迎える様々な準備をします。長屋門に門松を立て各建物や神棚・神様に注連飾りをします。鏡餅を神棚・床の間などに飾ります。神棚の前には鮭・鯉節・昆布・するめ・麻・みかん・番傘を下げます。	9:30~16:30	—	—	—	実演日：12月21・22・24・25日
		正月	展示	1月	上総地方の正月の情景を再現します。	9:30~16:30	—	—	—	展示日：1月2~5日
		どんど焼き 正月飾りなどを燃やし、無病息災を祈る行事	事前予約体験	1月	正月飾りなどをやぐらに組んで燃やし、その火で餅を焼いて食べたりして無病息災を祈ります。燃え上がる炎と竹の破裂音が勇壮です。	—	2時間 10:00~12:00	事前予約 50人	200円	締切：前日16:30 対象：5歳以上。小学4年生以下は1人に1人の引率が必要。 その他：正月飾りの焼き上げは当日10:00締切。雨天強風等は翌日に延期。足元がぬかるむため、汚れてもよい靴。 体験日：1月12日